

＜現場最前線からの便り＞

シリーズ



現場最前線からの便り

国有林の現場の最前線となる森林事務所・治山事業所等の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【中信森林管理署

鹿島森林事務所】

森林官 岡本 守

鹿島森林事務所は、長野県北西部にある大町市に位置し、管轄区域は

県境となる稜線の五竜岳から槍ヶ岳までの二九、九五一へびで、中信森林管

理署の国有林面積の約三割を管理しています。内訳は天然林が六十八%

を占め、ヒノキ・スギ・カラマツ等の人工林は約三%程度しかなく、残り

の二十九%は木が生えていない岩石地等になります。

管内には北アルプスを代表する植物群落や希少な天然林も多く、カラ

マツ等と大群落を形成する「湯俣キタゴヨウマツ・カラマツ等遺伝資源」

や、ヒノキ分布の北限部の一つである「鹿島ヒノキ等遺伝資源」などの希

少個体群保護林に設定して保護・管理しています。

また日本三大雪渓の一つと称され

る「針ノ木大雪渓」や、黒部立山アル

ペンルートの長野県側玄関口の扇沢

駅があり、昨年のトンネル電気バスは八十五万一千人の利用がありました。

高瀬入国有林内にはロックファイルダムとして日本第二位の高さ一七六

メートルを誇る「高瀬ダム」が迫力を見せ、その上流域には、大正十一年に国の

天然記念物に指定された「噴湯丘」があります。炭酸カルシウムを含む温泉

水により長い年月をかけて作り出



高瀬渓谷のある噴湯丘

された独特の形状をしており、学術上貴重な自然現象です。また、高瀬渓谷の葛温泉に近い国有林内には、高さが約十メートル、周囲は三十メートルを超える巨大な転石「仙人岩」が岩上に森林を形成し、ひっそりと佇んでいます。業務においては管理業務が主体で、大町市をはじめ山小屋関係や電力会社のダム関係等の貸付件数が多くあるため、計画的な現地確認・調査等を中心掛けています。地元関係は、雪解けの春から国有林に関係する各県道の冬季閉鎖解除に向けた現地調査に始まり、植樹祭や開山祭、夏には高瀬渓谷フェスティバル等に参加するなど、地元とも連携・協力し国有林のPRに努めています。また、平成二十六年に制定された全国「山の日」のPRの一環として始まった中信森林管理署のカレンダー配布について、暫くはホームページへの掲載のみとしていましたが、久しぶりに各市町村へ配布したところ好評でしたので今後も継続できればと思います。



仙人岩にて筆者(点線枠内)

【未来の担い手へのメッセージ】

昨今のクマ問題にも通じる人と野生動物との関わり方や、多くの環境問題を修復・改善していくうえでも重要な森林である「国有林」をしっかり守りながらどの様に活用していくか、とても大変な仕事で大切な仕事です。もし興味湧いてきましたら、この職場で新しい考え方や最新の技術を使って国有林をもっと色んな分野に活かしてみませんか。